

2014 FORMULA 4 CHAMPIONSHIP

F4 PADDOCK NEWS

才能と技術を育てるステップアップカテゴリー

Vol.4

WEST ROUND 6 SUZUKA RESULT

Pos No	Driver	Machine	Time/Gap
1	平木清也	SUCCEED SPORTS F108	+0'32.480
2	金井亮志	チームNATS-F2000	+0'385
3	植田正幸	Rm-sports制動盤ミスルKK-ZS	+28'409
4	久保宣夫	RCM-SRS-F1/コチラR	+29'081
5	鈴井翔	HFDP/SRS-F1/コチラR	+30'161
6	石川京侍	HFDP/SRS-F1/コチラR	+30'381
7	久保宣夫	RCM-SRS-F1/コチラR	+31'686
8	久保宣夫	RCM-SRS-F1/コチラR	+37'837
9	加藤智	FEEL-RK01-TODA	+38'747
10	大津弘樹	SRS-F1/コチラレーシング	+39'626
11	小河謙	TEAM TOM'S	+40'323
12	DRAGON B-MAX RK01 TODA	+41'522	
13	阪口夏月	HFDP/SRS-F1/コチラR	+44'741
14	平木清也	CMS-MCD90	+48'279
15	堀田光彦	ウエストレーシングブルースマーズ	+50'074
16	長 慎子	B-MAX RK01-TODA	+1'06'623
以上規定两点を完走			
90	FC 楠本悠生	WILL-DO ZTE スピリット	-3Laps

WEST SERIES 2014 RANKING (TOP10)

Pos No	Driver	R1	R2	R3	R4	R5	R6	Total(有効)
1	平木清也	10	20	20	15	20	20	95
2	速藤恋貴	12	0	8	20	8	-	48
3	朝日ターボ	6	8	3	12	0	10	39
4	植田正幸	-	-	12	8	4	12	36
5	加藤智	-	-	15	-	12	6	33
6	松井孝允	15	12	-	6	-	-	33
7	久保宣夫	8	15	-	-	8	-	31
8	金井亮志	-	-	-	10	15	-	25
9	牧野任祐	20	2	-	-	-	-	22
10	堀田光彦	-	-	4	10	-	2	16

EAST SERIES 2014 RANKING (TOP10)

Pos No	Driver	R1	R2	R3	R4	R5	R6	Total(有効)
1	三笠雄一	20	15	20	20	20	20	100
2	松井孝允	15	20	12	10	12	12	71
3	山田貴之	4	12	10	15	15	15	67
4	加藤智	10	4	15	12	10	10	57
5	阿蘇拓馬	12	10	8	8	0	0	28
6	植田正幸	-	6	6	6	-	4	22
7	金井亮志	8	3	3	3	0	2	19
8	久保宣夫	1	2	4	-	8	-	17
9	佐々木祐一	0	1	0	2	8	0	11
10	山口大陸	2	8	-	-	-	-	10

左: FCクラストップチャッカーハンドル。アルミクラスの植田を攻めつつ、福住。右: 西日本後半2戦にスポット参戦した金井は2位表彰台。



最終戦で独走優勝を飾った平木(中央)。日本一決定戦は不参加ながら、今後の上級カテゴリーでの活躍に注目が集まる。

アルミクラスでは植田正幸が優勝、総合でも3位に食い込んだ。写真は2位の久保(右)と3位の塚田(左)。

田は東西合わせてAクラス7勝という快挙も達成した。

総合優勝はもちろん平木。金井にはば

10秒もの差をつけ、4勝目をマークした。

「ミスも少しありましたが、予選よりも

攻めていけましたし、この1年間の集大

成とすることができます」と平木。所

属するサクシードスポーツの水守正監督

は「これをシーズン中盤にやてくれた

は「これがFCクラス初優勝、そしてラ

ンキング2位も決定した。「後ろをしつ

かり見て、ついてこられないのが分かつたので落ち着いて走れたと思います」と語った坪井は、総合でも4位に入った。

唯一、激しいバトルを繰り広げた福住

仁嶺と石川京侍を尻目に逃げ切った坪井

は、これがFCクラス初優勝、そしてラ

ンキング2位も決定した。『後ろをしつ

かり見て、ついてこられないのが分かつたので落ち着いて走れたと思います』と

坪井翔がつけた。

決勝ではフロントローに並んだ平木と金井が好スタートを切ったのにに対し、久保が悲惨のエンジンストール。これで加藤智と植田正幸が3、4番手に浮上し、

坪井はFCクラス勢をしたがえる。オーバーラップこそ食らついていた金井ながら、2周目からはファステストラップ発の平木に遅れを取り、やがて上位陣はそれぞれ単独走行になつていく。

坪井は、総合でも4位に入つた。というのは最終ラップに加藤が燃料ポンプのトラブルで、チエックを受けられなかつたからだ。繰り上がって3位の植

坪井が、4番手にはFCクラストップの久保宣夫が、4番手にはFCクラストップの金井亮忠がコンマ8秒もの差をつけ、常に高いレベルを求めて続けていた平木だけに区間ベストトータルでつなげられなかつた。3番手にはAクラストップの久保宣夫が、4番手にはFCクラストップの坪井翔がつけた。

決勝ではフロントローに並んだ平木と

金井が好スタートを切ったのにに対し、久

保が悲惨のエンジンストール。これで加

藤智と植田正幸が3、4番手に浮上し、

坪井はFCクラス勢をしたがえる。オーバー

ラップこそ食らついていた金井ながら、2周目からはファステストラップ発の平木に遅れを取り、やがて上位陣はそれぞれ単独走行になつていく。

坪井は、総合でも4位に入つた。というのは最終ラップに加藤が燃料ポンプのトラブルで、チエックを受けられなかつたからだ。繰り上がって3位の植

坪井が、4番手にはFCクラストップの久保宣夫が、4番手にはFCクラストップの金井亮忠がコンマ8秒もの差をつけ、常に高いレベルを求めて続けていた平木だけに区間ベストトータルでつなげられなかつた。3番手にはAクラストップの久保宣夫が、4番手にはFCクラストップの坪井翔がつけた。

決勝ではフロントローに並んだ平木と

金井が好スタートを切ったのにに対し、久

保が悲惨のエンジンストール。これで加

藤智と植田正幸が